

## 家庭ごみの収集方法等に関するアンケート調査結果（概要版）

### 1. アンケート概要

#### ● 目的

今後の河内長野市で想定される課題に対応したごみ収集等を検討するために、ごみ収集に関する課題やこれまでの取組等を把握し、今後の河内長野市におけるごみの収集方法等について検討するための基礎資料を得ることを目的として実施した。

#### ● 実施期間

令和4年12月14日～28日

ただし、集計には締切後に回収した回答を含む。

#### ● 対象

市内の各自治会、マンション等管理組合の自治会長・理事長を対象とした。

#### ● 発送・回収状況

自治会等の382団体に発送し、270団体から回答を得た。回答率は70.7%であった。

#### ● 主な質問項目

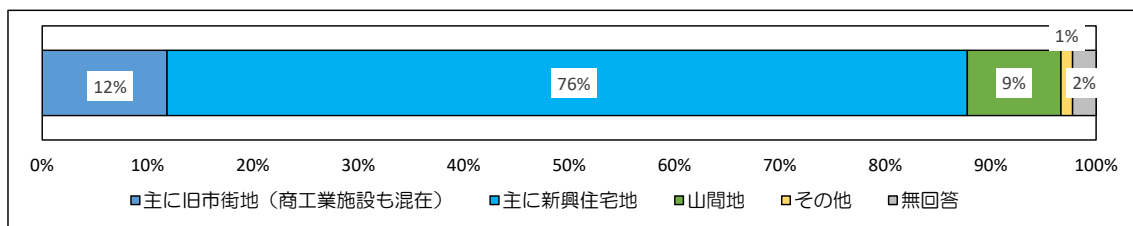
- ・ このアンケートにご記入いただく方について
- ・ I 地域でのごみ出しやステーション管理の課題と取組について
  - 問1 地域でのごみ出しやステーション管理の課題について
  - 問2 地域でのごみ出しやステーション管理の課題について
- ・ II これまでの市の支援と望む支援策や協働の取組について
  - 問1 これまでの市の支援は地域の課題解決に結びついているか
  - 問2 地域のごみ出しやステーション管理の課題解決に結びつく施策や協働の取組

### 2. 調査結果（概要）

#### （1）回答者について

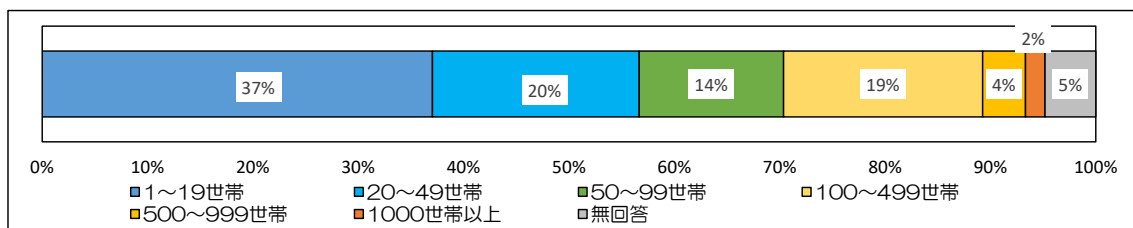
##### ○地域区分

- ・ 新興住宅地が76%と多い



##### ○自治会等の世帯数

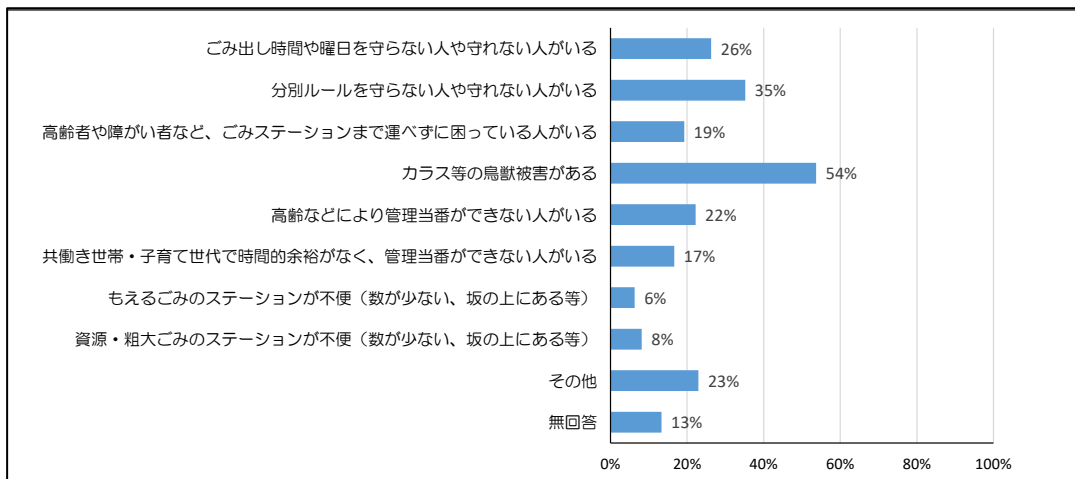
- ・ 1～19世帯が37%、20～49世帯が20%と、小規模の自治会が比較的多い



(2) 地域でのごみ出しやステーション管理の課題と取組について

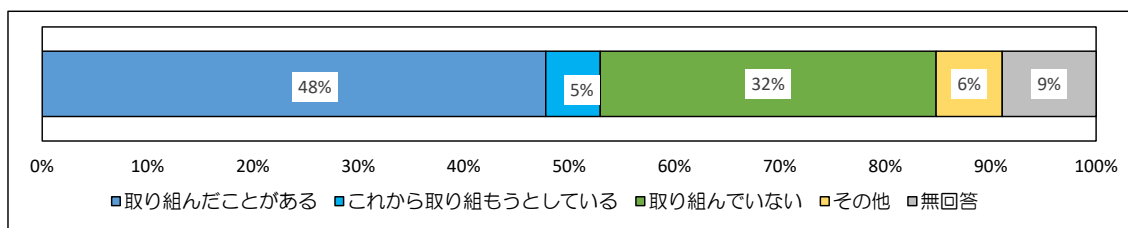
問1 地域（自治会）でのごみ出しやステーション管理に関して課題となっている点

- ・「カラス等の鳥獣被害がある」が最も多く、ごみ出し時間や分別ルールなどの決まりに関する課題が比較的多い。
- ・ごみの「ステーションが不便」はそれほど多くない。



問2(ア) 課題解決のために地域で取り組んだことがあるか

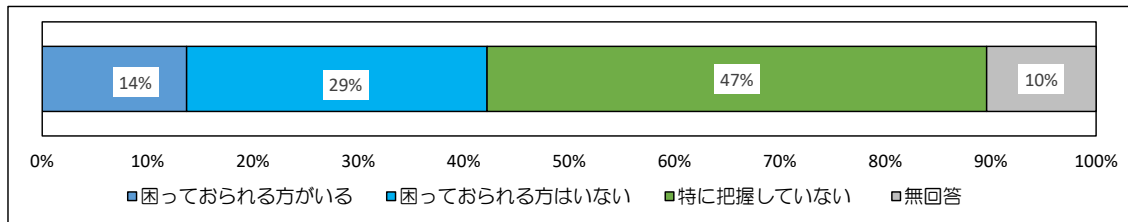
- ・「取り組んだことがある」が48%であり、ほぼ半数の自治会が取り組んだことがあった。



(3) これまでの市の支援と望む支援策や協働の取組について

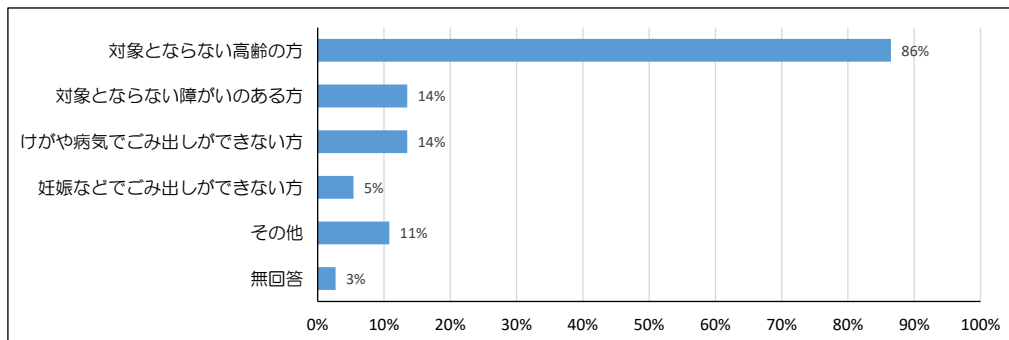
問1(ア) 地域で「ふれあい収集」の対象にならず困っておられる方の有無

- ・「特に把握していない」が多い。



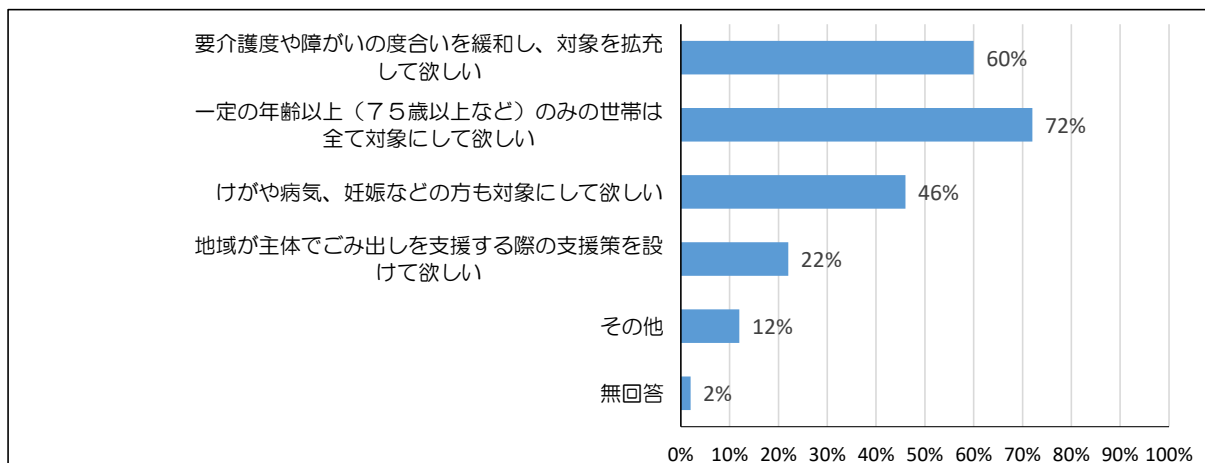
問1(ア)-1 「ふれあい収集」の対象にならず困っている方（※前問で1と回答の方）

・「対象とならない高齢の方」が圧倒的に多い。



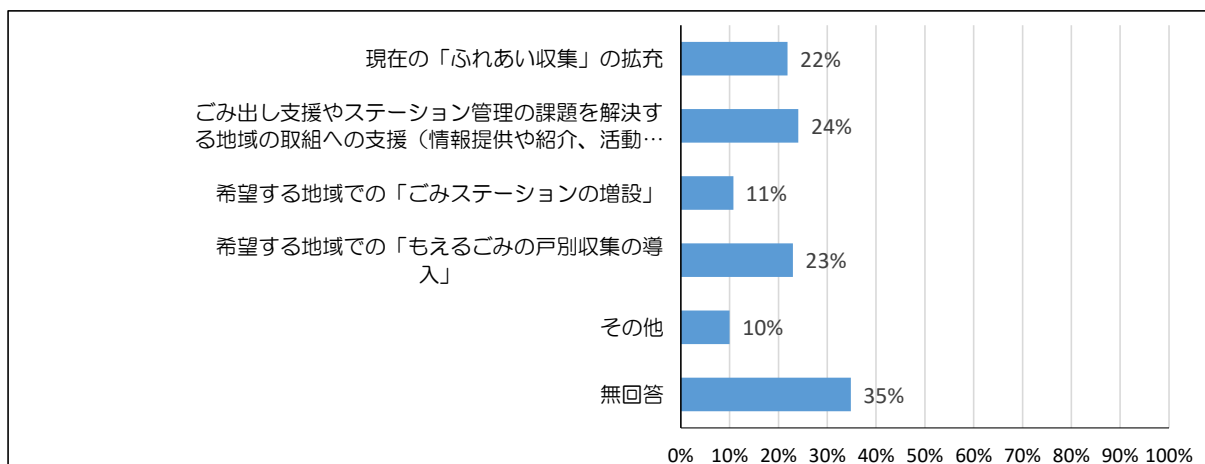
問1(イ)-1 「ふれあい収集」で改善して欲しい点

・前問の回答からうかがえるように「要介護度や障がい」、「年齢」の要件の緩和を求める回答が多い。



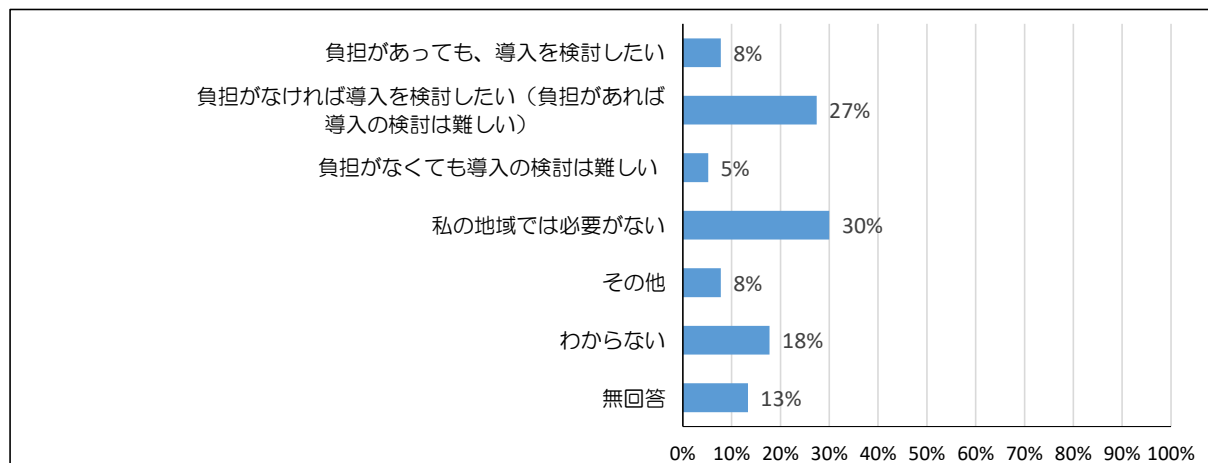
Ⅱ 問2(ア) 地域の「ごみ出し」や「ステーション管理の課題解決に結びつくと思う施策」

・「ふれあい収集の拡充」、「ごみ出し支援やステーション管理の課題を解決する地域の取組への支援」「希望する地域での『もえるごみの戸別収集の導入』」が20%強で比較的多かった。



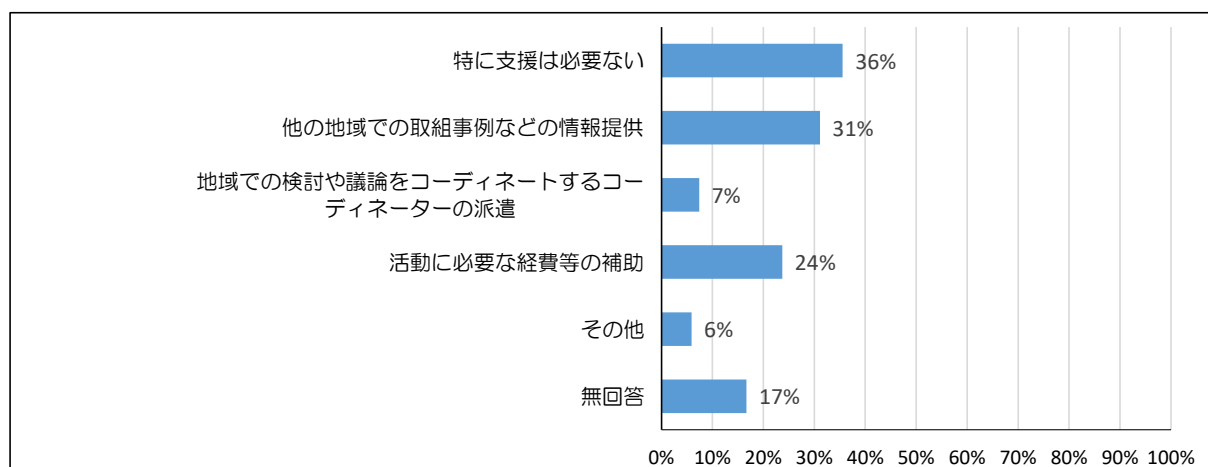
Ⅱ 問 2(ア)-1 地域の課題解決のため、金銭的負担や収集回数を週 1 回に減らすなど何らかの負担があっても「もえるごみの戸別収集」の導入を検討したいか。

- ・「負担がなければ導入を検討したい」「私の地域では必要ない」が多く、負担が敬遠されたことがうかがえる。
- ・一方、「負担があっても導入を検討したい」も 8%あり、課題の大きさや緊急性により、検討する解決方法が変わることが想定される。



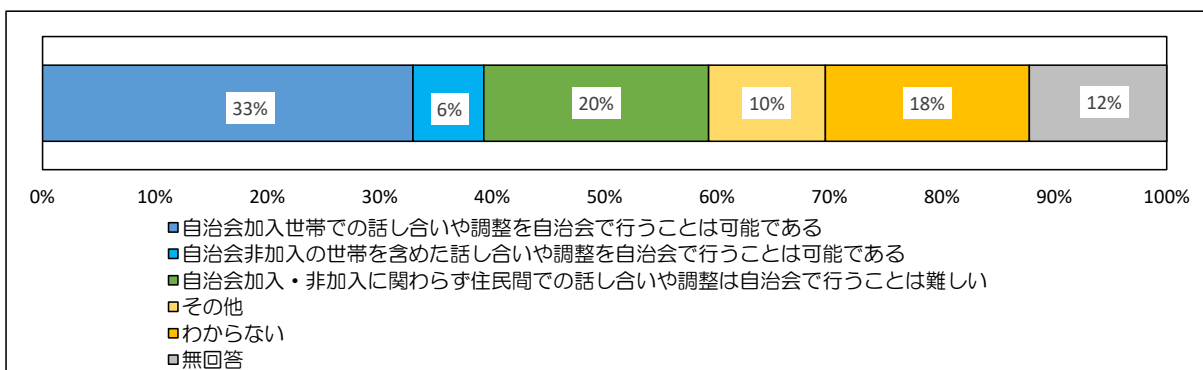
Ⅱ 問 2(イ) ごみ出し支援やステーション管理の課題解決のための地域支援として希望するもの

- ・「特に支援は必要ない」と地域で解決していることがうかがえる回答が多かった。



Ⅱ問2(ウ) 「ごみステーションを増設」するためには、設置場所や管理方法を利用する方々で話し合い、合意を得る必要があります。地域でこのような調整を行うことは可能か。

- ・「自治会加入世帯での話し合いや調整を自治会で行うことは可能である」が33%と多い一方、「自治会加入・非加入に関わらず住民間での話し合いや調整は自治会で行うことは難しい」も20%と比較的多く選ばれていた。
- ・「自治会非加入の世帯」を含めて話し合いや調整が可能とした自治会は6%と少なかった。



Ⅱ問2(エ) 希望する地域で戸別収集を導入することができるようになった場合、地域で戸別収集に移行するかどうかを議論することは可能か。

- ・自治会加入世帯であれば話し合うことは可能だと思うが46%とかなり多かった。一方、難しいという回答や、戸別収集は不要という回答も比較的多かった。

